



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)山岸運送(株) 藤枝物流センター 新築工事	BEE	1.6	BEEランク	A	★★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*/満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8 /5		ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.9 /5		がんばろう			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.0 /5		よい			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.7 /5		がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目				
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点			3.8	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④外壁:GL鋼板、内壁:PB貼り ④給水管:PE-HIVP、排水管:VP	Q-1	2	2.1	2.1.2	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地内の一部を未開発地として現状の植生を残置した ⑤外構緑化指数:21%、かつ中木を植栽している ⑥空地率:66.9%、燃焼機器なし ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑨LED照明の採用 ⑨BEImが0.6以下	Q-1	3	3.1	3.1.3	④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔
		LR-1	1			⑤ 生物環境の保全と創出
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマの採用 ⑫床材等に特定調達物品の採用 ⑫躯体と仕上が容易に分別可能 ⑬ガス消火設備を用いない消火設備の採用 ⑬ODP=0及びGWPが低い発泡剤使用の断熱材の採用	LR-2	1	1.1		⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭LCCO2排出率:68% ⑮見付面積比:53%、隣棟間隔指標:1.3	LR-3	1			⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点			2.9	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯地域係数Z=1.2	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備
	⑯見付面積比:53%、隣棟間隔指標:1.3			2.4	2.4.1	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点			4.0	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑲階高:7.1m、壁長さ比率:0.08	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑲階高のゆとり ⑲空間の形状・自由度
	■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) ⑲メッシュフェンスの採用により、防犯に配慮	Q-3	3	3.1		⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点			2.7	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉑まちなみ・景観への配慮/㉒敷地内温熱環境の向上) ⑳敷地内の一部を未開発地として現状の植生を残置した、外構緑化指数:21%、かつ中木を植栽している ㉑未開発地を一部確保することにより、既存の地形・植生を保存した	Q-3	1			⑳ 生物環境の保全と創出 ㉑ まちなみ景観への配慮 ㉑ 敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑲温熱環境悪化の改善) ⑲見付面積比:53%、隣棟間隔指標:1.3	LR-2	2	2.5		⑲ 持続可能な森林から産出された木材
		LR-3	2	2.2		⑲ 温熱環境悪化の改善

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山岸運送(株) 藤枝物流センター	階数	地上2F
建設地	静岡県藤枝市水上字機子谷347番7	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	10人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年10月6日
敷地面積	13,251 m ²	作成者	(株)国都 一級建築士事務所
建築面積	5,147 m ²	確認日	
延床面積	9,671 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
これはCASBEE静岡(2021年版)による評価結果です。		
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 仕上げ材や配管の更新間隔が短くならないよう材料の選定に配慮した。 また、倉庫の階高を高く設定し、建物の有用性を高めるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 外来種を自ら取り入れないよう配慮した。 また、高さのある建物の壁面位置を道路境界線から離す、建物の明度・彩度を抑えるなどを行い周辺のまちなみへの調和に配慮した。
LR1 エネルギー LED照明を採用するなど省エネルギー性に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特定調達物品等を採用することにより、非再生性資源の削減に配慮した。 GWPが低い発泡剤を使用した断熱材を採用し、地球温暖化に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を抑制し、地球温暖化に配慮した。 敷地内での荷捌スペース、管理車両・荷捌車両の駐車スペースを確保し、交通負荷抑制に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される